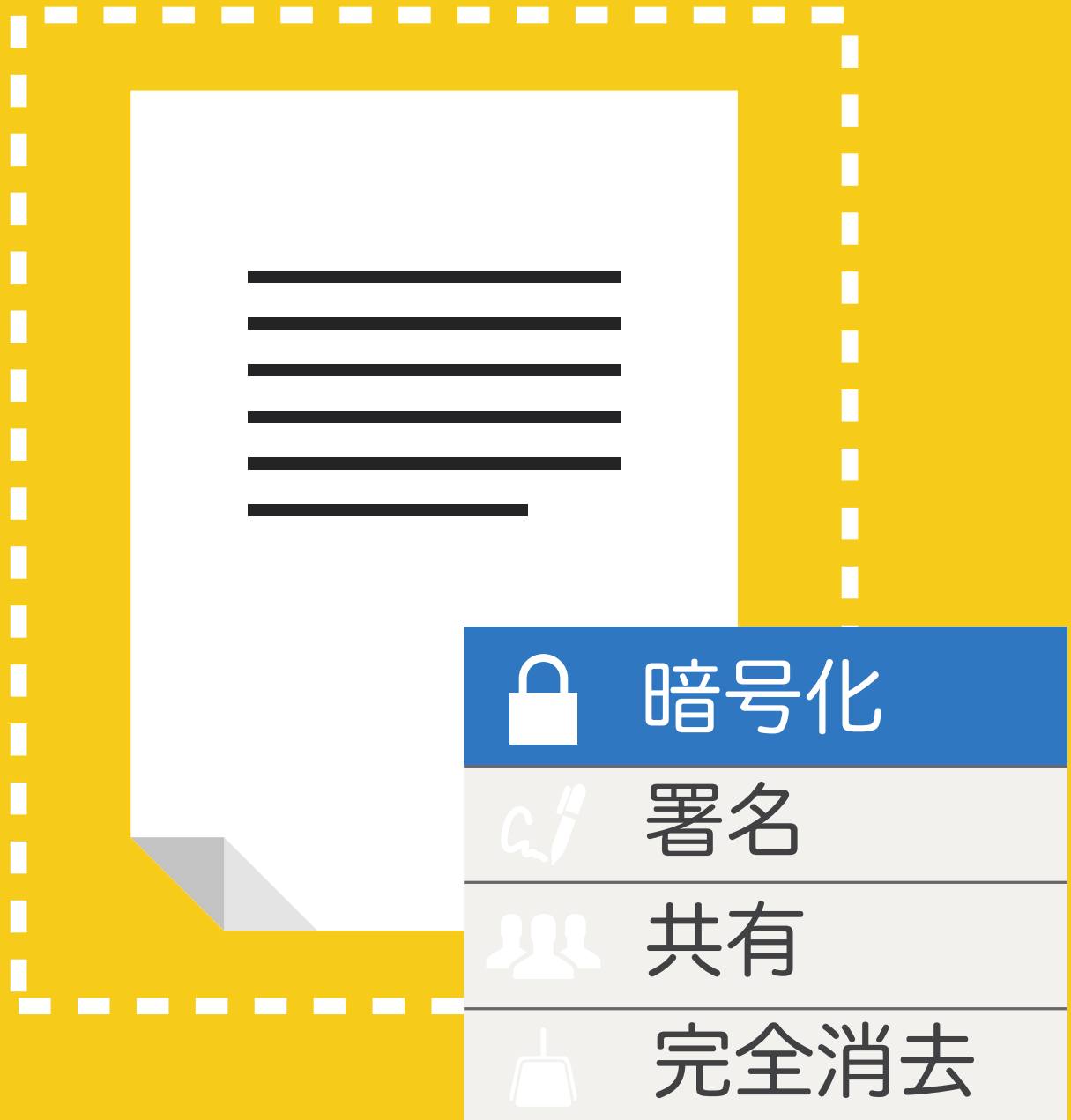


SecureAge

SecureFile



ユーザ判断によるピンポイントな
ファイル暗号化と共有化

SecureFileとは?

SecureFileは、256ビットAES (Advanced Encryption Standard) 暗号化とデジタル署名を使用して、利用者が能動的にミッションクリティカルなファイルの保護を行うことのできる、PKIベースドキュメントセキュリティソリューションです。



機密保持

ミッションクリティカルなファイルに不正アクセスできないようにします



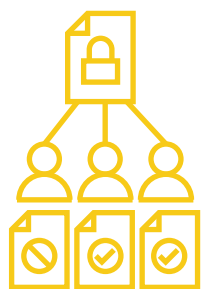
整合性

ミッションクリティカルなファイル
不正な改変無く、意図通りに
送信されることを確実にします



認証

ファイルソースを簡単に識別すること
で、偽装を防止します



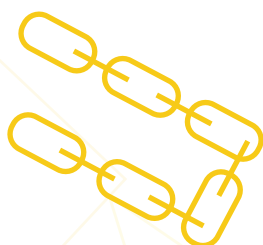
共有目的の暗号化

SecureFileは、ユーザの数回のクリックで強力な暗号化を可能とし、権限のないユーザからファイルを保護するように設計されています。
暗号化にはPKIを組み込み、権限のないユーザのアクセスは完全に退けますが、SecureFileを利用する個人、グループ、部署、会社同士であれば、内部でも外部でも、ファイルを暗号化の状態のまま安全に共有することができます。



自動暗号化&完全消去によるストレージセキュリティ

SecureFileは、SecureFileへの保存前にファイルを自動的に暗号化します。
加えて、高度な復元技術を利用しても元の平文ファイルに回復できない技術を採用し、平文ファイルを完全消去します。
平文の痕跡を残さずに、ミッションクリティカルなファイルを常に暗号化の状態で、システム上に簡単に安全に保存することができます。

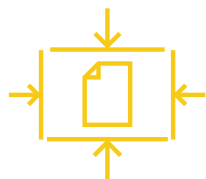


連鎖署名による否認防止

SecureFileによるデジタル署名は、データの整合性を維持し、信頼性の高い認証を可能にするだけではありません。
複数の認証済みユーザに連鎖署名ファイルに署名させることで、否認防止についても考慮しています。これは、組織内の認証プロセスのワークフローを安全にするために不可欠なコンポーネントです。

簡単なクリック操作でファイルを暗号化

SecureFileはユーザビリティを尊重し、直感的な利用ができるよう設計されています。ユーザはわずか2回のクリック*でシステム上の任意のファイルを暗号化することができます。このプロセスでは次のような利点も含まれています：



ファイルの圧縮



ユーザ鍵で暗号化&署名



ファイル共有と平文の完全消去

* ユースケースの共有には、認証済みユーザを選択するため、もう1クリックが必要です。

内蔵のファイル暗号化&署名で安全なアプリケーションのカスタム化

SecureAge COM(Component Object Model) APIは、開発者がSecureAgeプラットフォームにアクセスし、独自のアプリケーションにPKIベースのセキュリティを追加できるアプリケーションプログラミングインターフェイスです。



どういう仕組みですか？

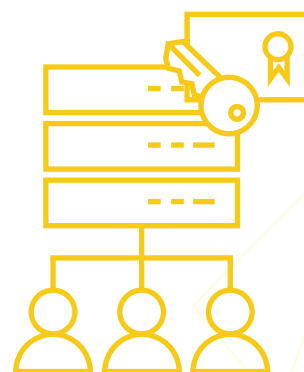
Windows COMインターフェイスに基づいており、Visual BasicまたはC++のプログラム言語での開発が可能です。

開発者の時間や労力をほとんど必要とせず、SecureFileの機能であるファイル暗号化とデジタル署名を、別のエンタープライズアプリケーションに簡単に実装できます。

ユーザ鍵と証明書はどのように管理されますか？

ユーザ鍵と証明書は、SecureAgeメインクライアントの証明書ストア内で管理されます。

開発者は、APIを呼び出してユーザ証明書のLDAP検索を実行、証明書ストアに見つからない必要な証明書をダウンロードし、証明書を検証するアプリケーションを作成することができます。



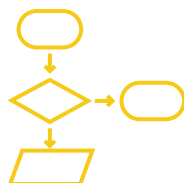
SecureFile の特徴と技術

SecureFileは下記の機能により、ユーザ作業を妨げることなく、不正アクセスからファイルを安全確実に保護し、共有を図ります。



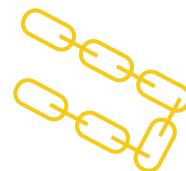
公開鍵&秘密鍵で暗号化と復号化

無制限のRSA鍵長、256-AES、デジタル署名で暗号化・復号化をサポート



カスタマイズ可能なアルゴリズム

ユーザ定義のファイル暗号化アルゴリズムを統合してデータセキュリティをさらに強化



連鎖署名のサポート

組織内で安全な文書ワークフローを管理する連鎖署名



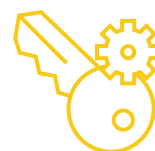
ファイルの完全消去

一度暗号化された後は、平文機密ファイルを完全消去



証明書管理

パフォーマンス向上のため、標準 x. 509 v3 証明書とピア証明書のローカルキャッシュをサポート



鍵管理

AES, トリプルDES, RSA, ECDSA, ECDH, MD5, SHA-1, & SHA-2などのファイル暗号化アルゴリズムをサポート



二要素認証

PKIスマートカードとUSBトークンとのシームレスな統合



SecureAge COM API

暗号化と署名付きの安全なアプリケーションを構築するスケーラブルなAPI

ソフトウェアの仕様と要件

製品情報

製品名: SecureAge SecureData
表示言語: 日本語、英語、中国語
ライセンス: 標準およびボリュームライセンス
サポート: 1年(以降別途SMS更新)
付属品: 各種管理者ガイド、ユーザガイド

インストール要件

プロセッサ: OSで推奨された x86/x64ビットプロセッサ
(※AES-NIに対応したプロセッサを推奨)
OS: Windows 10, 8.1, 8, 7, Vista, XP
Windows Server 2012, 2008, 2003
メモリ: OSで推奨された容量
HDD: 50MB以上の空き容量

※仕様と要件は予告なく変更される場合がありますので、予めご了承ください。

お問い合わせ



www.SecureAge.co.jp



contact us